

JA 網 領

わたしたちは、

地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ります。

環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築きます。

JA への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現します。

自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JA を健全に経営し信頼を高めます。

協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求します。

十勝・豊頃町について

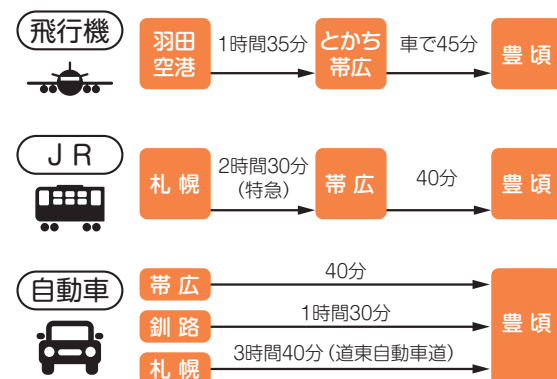
豊頃町は、北海道十勝地方の東南端に位置する、農業と漁業を基幹産業とする人口約3,000人の町です。町名の由来はアイヌ語の「トエコロ」で、「大きなフキが生えていたところ」といわれています。

豊頃町の農業は、十勝川の支流沿いに広がる肥沃な土地で営まれています。畑作と酪農が主体で農地面積に占める割合はほぼ同率です。畑作は寒冷地作物の馬鈴薯・甜菜・小麦・豆類を中心に輪作が行われ、畜産は搾乳が中心ですが、肉牛の生産と有機質の活用を目指した黒毛和種の導入もされてます。

JA 豊頃町の概要 (令和7年2月28日現在)

- 役員数 12名
- 組合員数 正組合員戸数 148戸 正組合員数244名 准組合員数331名
- 職員数 86名他常勤嘱託職員
- 事業所 本部事務所、豊頃セルフ給油所、農機具修理工場、生産資材店舗、倉庫事務所 他
- 子会社等 豊頃協同運輸株式会社

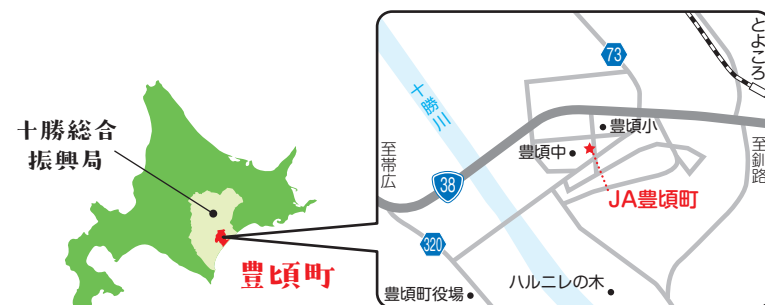
交通[ACCESS]



所在地

〒089-5235
北海道中川郡豊頃町中央若葉町12番地

TEL 015-574-2101
FAX 015-574-3688



JA豊頃町の理念

基本理念

わたしたちは、「一人は万人のために、万人は一人のために」という、「相互扶助の精神」の基に地域農業を守り、時代に即した事業展開を行い、地域社会に貢献します。

経営ビジョン

農業振興

限りある経営・生産資源である農地の地力増進により地域農業の振興を図ります

組合員経済の向上

組合員の生活と経済の向上に尽力し健康で豊かな地域社会の発展に寄与します

消費者への供給

クリーンで安全な食の提供を使命とし豊かで平和な社会づくりに貢献します

人材育成

個人の創造力とチームワークの強みが最大限に発揮されるJAの風土をつくります



豊かな稔り 豊かな恵み

沿革

- 昭和23年 農協発足、初代組合長・田中茂就任
- 昭和30年 大津村農協分割合併
- 昭和35年 家畜センター新築、仏国より種牡馬輸入
- 昭和38年 合理化澱粉工場新築（20万俵処理工場）
- 昭和46年 豆類調整工場の新築
- 昭和47年 農業修理工場、ホクレン豊頃中央給油所新築
- 昭和50年 北星大豆採種組合天皇杯受賞
- 昭和53年 農・開協合併（十農務第65号指令）
農協事務所・農協会館新築、農協創立30周年記念式典
- 昭和63年 大根共同選別場新築
●銘柄「十勝だいこん」
- 平成3年 生乳量3万トン突破記念式典
にんじん選別場新築
●銘柄「十勝にんじん」
- 平成10年 農協創立50周年記念式典
豊頃町・滑川市両農協青年部の友好姉妹提携20周年記念
- 平成12年 合理化澱粉工場廃業、東工連に加入
JAアルプスと友好提携調印
- 平成19年 豊頃セルフ給油所改修
- 平成20年 青年部創立50周年記念式典
- 平成23年 取扱高100億円突破
- 平成29年 麦貯留施設増築
- 平成30年 種子馬鈴薯貯蔵施設・資材店舗・肥料倉庫施設竣工
- 令和3年 大型車両整備工場竣工
- 令和5年 生き甲斐部創立50周年記念式典
- 令和6年 取扱高過去最高137億円
女性部創立70周年

入組4年目 経済部

組合員さんへの飼料供給管理や資材店舗での来客対応など、今どんな資材が必要か日々巡回業務をしています。

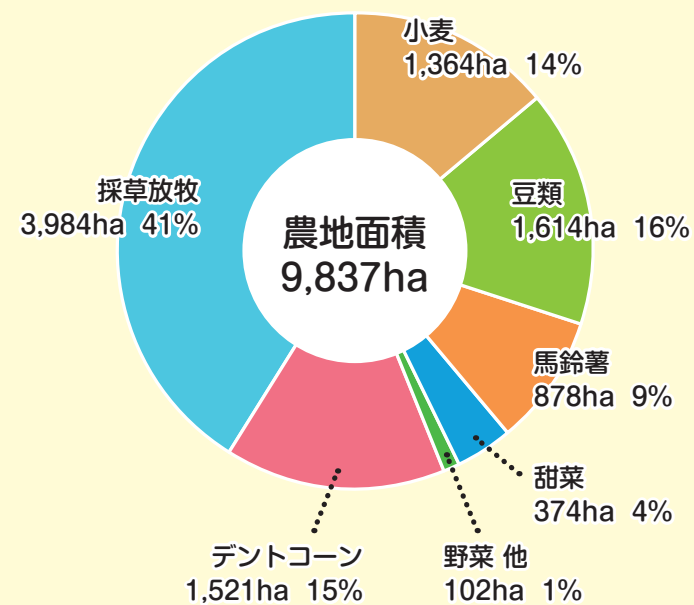


入組4年目 総務部

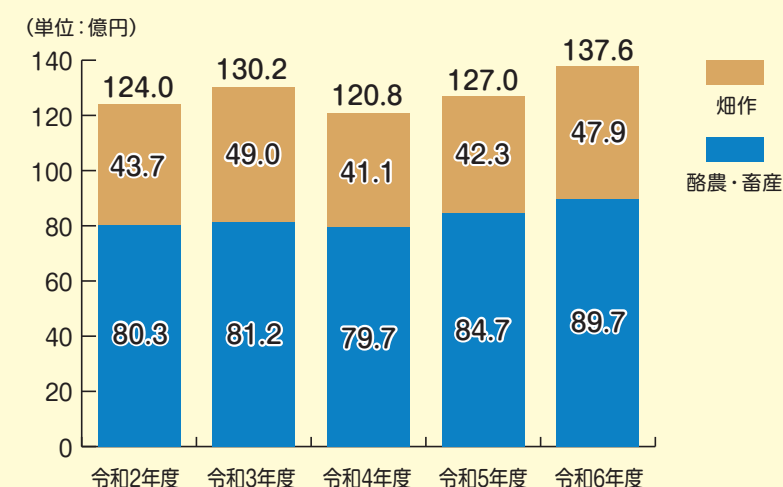
畜産物の精算経理や日々の経費処理など農協全体の経理を担当しています。



主な取り扱い品目と作付面積、取扱額



JA豊頃町における取扱高



主な特産品

あずき茶



豊頃町産小豆で青年部があずき茶を製作

豆類



寒暖差が育んだ良質な豆類